

建築鋼構造学第1部
Building Steel Structure 1

教員名	多田元英 (ただ もとひで)							
教員連絡先 (研究室所在地・TEL)	吹田キャンパス S1棟7階725室 電話: 06-6879-7651							
E-MAIL アドレス	tada@arch.eng.osaka-u.ac.jp							
履修対象	建築工学コース (3年次)							
単位	2	セメスター				5		
受講条件	構造力学基礎, 建築構造力学 A, B を修得していることが望ましい。							
授業の教育目的・目標 他科目との関連	鋼構造が建築において果たしている役割を理解し, 後期開講の建築鋼構造学演習と併せ, 鋼構造建築物の設計・施工に関する理解を深める。							
学習・教育目標	A	B	C	D	E	F	G	H
	○			○	◎		○	
授業計画・概要	テーマ		概要					学習・教育目標
	鋼構造の歴史, 鋼構造建築物の構造と鉄骨工事の流れ (3回)		鋼構造の歴史的変遷、現在の鋼構造建築物の構造概要と鉄骨工事の流れについて基本的な知識を身につける (包括3回)。					E G
	形鋼の製作概要と鋼材の特性 (2回)		よく使用される形鋼の断面形状とそれぞれの特徴、製造方法について基本的な知識を身につける (包括1回)。さらに鋼材の基本的特性について基本的な知識を身につける (包括1回)。					E G
	設計方法 (2回)		構造安全性を確認するための設計法 (許容応力度法, 終局強度法【塑性設計法】、限界状態設計法) について基本的な知識を身につける (包括1回)。更に、建築基準法に則った設計手順について基本的な知識を身につける (包括1回)。					D E
	接合部と座屈 (4回)		溶接接合とボルト接合について基本的な知識を身につける (包括3回)。また、注意が必要な座屈について基本的な知識を身につける (包括1回)。					D E
	鋼構造建築物の実例と被害例 (3回)		地震・豪雪・強風による鋼構造建築物の被害例について専門的な知識を身につける (高度1回)。更に、重要な鋼構造建築物について専門的な知識を身につけるとともに自分の好きな鋼構造建築物をレポートして発表する (高度2回)。					A E
	期末試験 (1回)							
教科書								
参考図書・文献等								
成績評価方法・評価基準	学期末試験 (70%) とレポート (30%) で評価する。総点で 60 点以上を合格とする。							
オフィスアワー	随時 e-mail にて対応							
コメント								